

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

尊敬してもらうためには相手を尊重する ローランド・ベルガー（独ローランド・ベルガー名誉会長）

1. 経営する企業の規模の大小を問わず、リーダーがカリスマ性を持つことは本当に大事です。経営者に限らず、医師でも通訳でもあらゆる職業において、カリスマ性があることは有利に働きます。それは身に付けられるものではないと思うかもしれませんが、そうではありません。いい意味で自己中心的になり「成功したい」と強く願い、野心的になって、努力し続けることが大事です。
2. もちろんカリスマ性だけでビジネスがうまくいくわけではありません。優れたリーダーは、社会に受け入れられる存在でなければならない。そこで最も重要なのは「人間を尊重する姿勢」です。顧客、従業員、パートナーのそれぞれから尊敬してもらえる存在になることが求められます。
3. 尊敬してもらうためには、まず相手を尊重しなければなりません。なぜなら、あらゆるステークホルダーはあなたと同じ人間だからです。自分が敬意を払ってもらっている。認められてもらっている。そう感じれば、人々はあなたを信じて、動いてくれるはずです。

（参考：「日経ビジネス」2018年5月7日号）

ワンポイント経営アドバイス

組織のリーダーに求められる資質とは何か

野口悠紀雄

（早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター顧問）

1. 大蔵省（現財務省）元事務次官、東京証券取引所理事長の長岡實が逝去された。長岡氏は 1973 年に私の上司だった。そして、長岡氏が理想的なトップであったことは間違いない。組織のリーダーに求められる資質とは何だろうか。判断が正しいことや、先を見通す力があることは、もちろん必要だ。しかし、参謀ならばそれで良いだろうが、トップは、それだけでは不十分だ。それに加えて何かが必要だ。
2. それは部下の信頼を獲得することだ。「この人に付いていけば間違いない」という信頼。「この人には何とか評価してもらいたい」という願望。「そのためには何を犠牲にしてもよい」というほどの信頼だ。やや問題のある表現をすれば「死んでくれ」と言われればそれに従ってもよいほどの信頼だ。長岡氏は、間違いなくそのような力を持つリーダーだった。

（参考：「週刊ダイヤモンド」：2018年5月19日号）

人事・労務について

変わる転勤制度

1. 専業主婦が前提だった頃は、転勤制度は機能していた。だが、フルタイムの共働きが増えている今、この制度の問題点がクローズアップされている。企業も変わり始めた。三菱UFJ銀行では原則として総合職は全国転勤があるものの、2019年4月をメドに介護など個別の事情にライフデザインに応じ年単位でエリアを選択可能とすることを検討している。
2. 一方、慶応大学商学部の鶴光太郎教授は、「転勤は職業能力を高めるという要素もあった。今後は転勤に代わってスキルアップできる制度を作らなければならない」と指摘する。

（参考：「週刊東洋経済」2018年6月9日号）

古典に学ぶ

家道が^{ととの}齊わ^{ととの}ない稀世の英雄

（解説）かの稀世の英雄豊太閤などが、やはり礼にならず、家道の^{ととの}齊わ^{ととの}なかつた隋一人である。賞むべではないが乱世に生い立ったものには、どうもこんなことも致し方のない次第で、余り酷には責むべきでもなかろうと思う。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）